

**製品名:** アセチルヒストン H3(Lys18)ウサギモノクローナル抗体

**カタログ番号:** AMRe84527

研究使用のみ

## 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	アセチル化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 15 kDa ; Observed MW: 17 kDa

## 抗原情報

遺伝子名	Histone H3(acetylK18)
別名	Histone H3.1, Histone H3, HIST1H3A;;Acetyl-Histone H3 (K19)
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P68431
免疫原	ヒトヒストン H3.1 の K19 アセチル化部位周辺から合成したペプチド

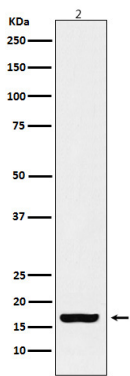
## 背景

ヌクレオソームの中核構成要素。ヌクレオソームはDNAをクロマチンに包み込み、DNAを鋳型として利用する細胞機構へのDNAのアクセスを制限します。そのため、ヒストンは転写制御、DNA修復、DNA複製、そして染色体の安定性において中心的な役割を果たします。DNAへのアクセスは、ヒストンの複雑な翻訳後修飾（ヒストンコードとも呼ばれます）とヌクレオソームリモデリングによって制御されています。

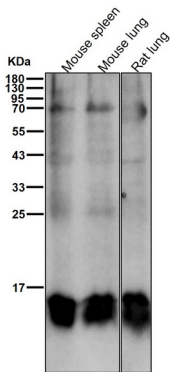
## 研究分野

-

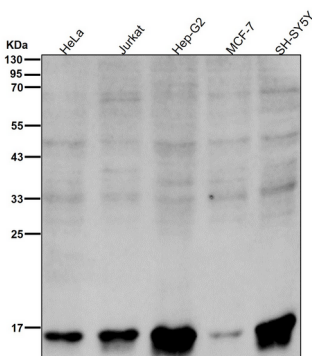
## 画像データ



TSA細胞溶解物で処理したHeLa細胞におけるヒストンH3（アセチルK18）発現のウェスタンブロット分析。



すべてのレーンでは、抗体を1:1Kに希釈して室温で1時間使用します。



すべてのレーンでは、抗体を1:1Kに希釈して室温で1時間使用します。